

18時45分発表

平成21年12月15日
北海道旅客鉄道株式会社

海峡線 新中小国信号場構内における灯油の流出について

1. 発生概要

本日（12月15日）6時55分頃、海峡線 新中小国信号場（中小国～津軽今別駅間）構内において、新中小国信号場除雪係員が信号場構内に設置されている「熱風式融雪装置」の灯油の残量点検を行ったところ、灯油の減り方が異常であることに気づき、直ちに函館指令センターに連絡、函館指令センターが熱風式融雪装置を停止させました。地下タンクの残量を確認したところ、昨日より約4,000L減少していることが判明しました。付近を調査したところ、灯油は、排水路に流れ込み河川へ流出していることが判明しました。その後、消防署等関係箇所のご指導・ご協力をいただきながら、灯油流出防止に努めるとともに、回収作業を行っております。

2. 発生箇所

海峡線 新中小国信号場構内 熱風式融雪装置付近
（住所：青森県東津軽郡外ヶ浜町字蟹田大字山本小谷26-5）

3. 原因 現在調査中

4. 推定流出量 約4,000L

5. 時系列

- 6時55分：新中小国信号場除雪係員が熱風式融雪装置の地下タンクの灯油が異常に減っていることに気付いた
- 6時58分：現地除雪係員からの連絡を受け函館指令センターが熱風式融雪装置を停止
- 8時11分：漏油調査開始
- 9時20分：消防署に連絡
- 9時28分：青森県へ連絡
- 9時42分：外ヶ浜町役場へ連絡
- 12時40分：排水路に流出した灯油を吸着材により回収開始
- 15時00分：オイルフェンス設置完了

6. 付記

- (1) 熱風式融雪装置の地下タンクの容量は8,000Lです。
- (2) 地下タンクの残量は、12月14日6時00分時点で約7,000Lあり、12月15日6時55分時点では約3,000Lの残量でした。

7. 今後の対策

- (1) 流出した灯油の回収作業に努めます。
- (2) 今回の事象について原因の究明を行い、必要な対策が完了するまでは当該設備を使用停止とします。
- (3) 今後関係機関のご指導を受け、必要な措置を講じてまいります。